

小専社会第 6 回「jSTAT MAP で見る大阪府の人口の分布」の作業内容と手順

○作業内容：PC で jSTAT MAP を用いて市町村別人口密度および人口に関する主題図を作成して、日本全体および大阪府の人口分布を学習するために適当な主題図を考える。

○手順：

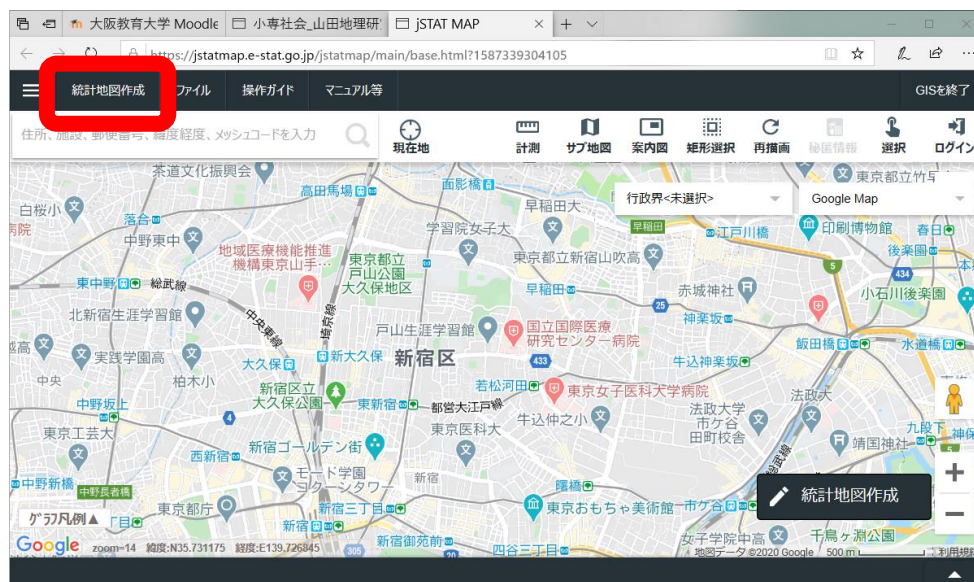
- ①PC でブラウザ（Microsoft Edge や Safari などのインターネットを閲覧するソフトウェア）を起動する、
- ②登録したブックマークから「小学校専門科目社会地理分野のページ」を開く。ブックマークに登録していない人は、Google 等の検索サイトで「山田地理研究室」を検索して、開いた「山田地理研究室」から「小学校専門科目社会地理分野のページ」を開く。
- ③開いた「小学校専門科目社会地理分野のページ」の第 6 回の、記入用紙とある赤茶ボタンをクリックする。
- ④そうすると、自動でダウンロードが始まるか、操作の選択（「開く」、「保存」等）を問う画面が、画面下部に表示されるので、都合の良いフォルダ（「ドキュメント」など）を選んで保存する。
- ⑤保存したフォルダ（自動で保存された場合は、「ダウンロード」フォルダ等、各自の PC の設定によって異なる）を開いて、ダウンロードしたファイル「SHE06b_Worksheet_2020b」をダブルクリックする。
- ⑥そうすると、Microsoft Word が起動して、記入用紙が表示される。画面上部に「編集を有効にする」というボタンが表示された場合は、そのボタンをクリックする。以上で、作業の成果を記入する準備ができたので、⑦以降の手順で、jSTAT MAP を用いて作業を行う。
- ⑦再び、「小学校専門科目社会地理分野のページ」に戻って、第 6 回の、jSTAT MAP とある青ボタンをクリックする。
- ⑧そうすると、地図で見る統計（jSTAT MAP）という Web サイトが別ウインドウで開き、ログインについて選択する画面が表示されるので「ログインしないで GIS を始める」をクリックする。そうすると、jSTAT MAP の画面が表示されるので、次ページを読んで、まず、国勢調査の 2015 年の市町村別データを用いて、主題図を作成する。そして、後ページの読み取った記述の例を参考にして、作成した主題図から、人口密度分布の特徴を、日本全体および大阪府のそれぞれについて読み取る。
- ⑨次に、市町村別人口密度の主題図を「自然分類」で作成して、人口密度分布の特徴を、日本全体および大阪府のそれぞれについて読み取り、記入用紙に記述する。
- ⑩同様にして、「市町村別人口の主題図（件数均等）」「市町村別人口の主題図（自然分類）」も作成して、人口密度分布の特徴を、日本全体および大阪府のそれぞれについて読み取り、記入用紙に記述する。
- ⑪そして、日本全体および大阪府の人口分布を学習するためには、「市町村別人口密度の主題図（件数均等）」および「市町村別人口密度の主題図（自然分類）」のいずれが適当であるかを、理由とともに記入用紙に記述する。
- ⑫また、適当ではない地図である、「市町村別人口の主題図（件数均等）」「市町村別人口の主題図（自然分類）」について、このような地図を人口分布の学習に使った場合に、どのように誤解するか？、日本全体および大阪府のそれぞれについて、記入用紙に記述する。

jSTAT MAP の操作法

* この Web サイトは、一定時間（数十分程度）操作しないでいると、それ以上操作できなくなり、再度ログインを要求されるので、途中で放置すると、一からやり直すことになる。

○ 「市町村別人口密度の主題図（件数均等）」の作成法

① 画面左上部の「統計地図作成」をクリックして表示される「統計グラフ作成」をクリックする。



② そうすると、統計データを選択するウインドウが表示されるので、上部にある、調査名を「国勢調査」に、年を「2015 年」に、集計単位を「市区町村」に、それぞれ設定する。そして、その下にある統計表から「人口性比、密度」を、指標から「密度（人口総数）」を、それぞれ選択して、「指標選択」とあるボタンをクリックして、「次へ」をクリックする。



③ そうすると、統計グラフ作成ウインドウが表示されるので、「集計開始」をクリックする。そして、しばらくすると、画面に市町村別人口密度の主題図が表示される。この図は、「件数均等」という階級区分で作成されており、「市町村別人口密度の主題図（件数均等）」がこの主題図になる。後ページのこの主題図を読み取った記述の例を参考にして、作成した主題図から、人口密度分布の特徴を、日本全体および大阪府のそれぞれについて読み取る。

○「市町村別人口密度の主題図（自然分類）」の作成法

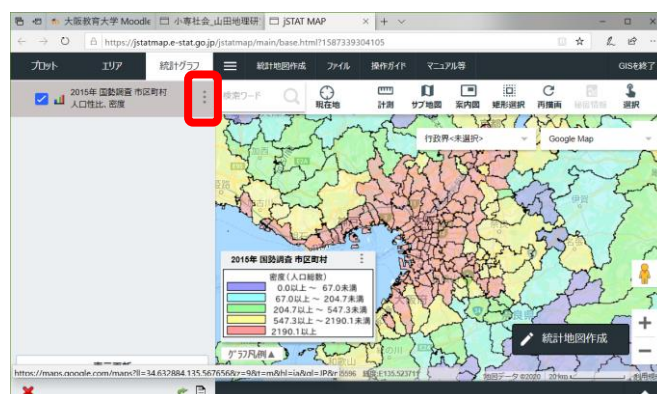
①作成した「市町村別人口密度の主題図（件数均等）」が表示された画面の左上部にある「三」のような記号

☰をクリックする。



②そうすると、画面にウインドウが表示され、「2015 年 国勢調査 市区町村 人口性比、密度」という文字と

棒グラフのアイコンが表示されるので、その右にある縦に並んだ 3 つの点 ☰ をクリックして表示される「グラフプロパティ」をクリックする..



③そうすると、新しいウインドウが表示されるので、「ランク種類」の中にある「自然分類」左の○を栗生して、青丸が入った状態にして、「更新する」をクリックする。



④そうすると、画面に、「自然分類」という階級区分で作成された市町村別人口密度の主題図が表示される。この図が「市町村別人口密度の主題図（自然分類）」になるので、人口密度分布の特徴を、日本全体および大阪府のそれぞれについて読み取り、記入用紙に記述する。そして、そして、日本全体および大阪府の人口分布を学習するためには、「市町村別人口密度の主題図（件数均等）」および「市町村別人口密度の主題図（自然分類）」のいずれが適当であるか？を、理由とともに記入用紙に記述する。

○「市町村別人口の主題図（件数均等）」の作成法

＊市町村別人口を階級区分図で作成することは、適当ではないが、どのように適当ではないか理解するために、あえて作成する。

- ①「市町村別人口密度の主題図（件数均等）」と同様に、画面左上部の「統計地図作成」をクリックして表示される「統計グラフ作成」をクリックする。
- ②そうすると、統計データを選択するウインドウが表示されるので、上部にある、調査名を「国勢調査」に、年を「2015 年」に、集計単位を「市区町村」に、それぞれ設定する。そして、その下にある統計表から「男女別人口総数及び世帯数」を、指標から「人口総数」を、それぞれ選択して、「指標選択」とあるボタンをクリックして、「次へ」をクリックする。
- ③そうすると、統計グラフ作成ウインドウが表示されるので、「集計開始」をクリックする。そして、しばらくすると、画面に市町村別人口の主題図が表示される。この図は、「件数均等」という階級区分で作成されており、「市町村別人口の主題図（件数均等）」がこの主題図になるので、人口分布の特徴を、日本全体および大阪府のそれぞれについて読み取り、記入用紙に記述する。また、この図から人口分布を学習する場合の注意点を、日本全体および大阪府のそれぞれについて読み取り、記入用紙に記述する。

○「市町村別人口の主題図（自然分類）」の作成法

- ①作成した「市町村別人口の主題図（件数均等）」が表示された画面の左上部にある「三」のような記号をクリックする。
- ②そうすると、画面にウインドウが表示され、「2015 年 国勢調査 市区町村 男女別人口総数及び世帯数」という文字と棒グラフのアイコンが表示されるので、その右にある縦に並んだ 3 つの点をクリックして表示される「グラフプロパティ」をクリックする。
- ③そうすると、新しいウインドウが表示されるので、「ランク種類」の中にある「自然分類」左の○をクリックして、青丸が入った状態にして、「更新する」をクリックする。
- ④そうすると、画面に、「自然分類」という階級区分で作成された市町村別人口の主題図が表示される。この図が「市町村別人口の主題図（自然分類）」になるので、人口分布の特徴を、日本全体および大阪府のそれぞれについて読み取り、記入用紙に記述する。また、この図から人口分布を学習する場合の注意点を、日本全体および大阪府のそれぞれについて読み取り、記入用紙に記述する。

★「市町村別人口密度の主題図（件数均等）」を読み取った記述

日本全体	・ 広い範囲にわたって、人口密度が高い市区町村が分布するのは、首都圏、中京圏、近畿圏の 3 地域である。これら 3 地域では、それぞれ数十の市区町村が、高い人口密度で連続した塊を形成している。 ・ あまり広くない範囲で人口密度が高い市区町村が分布する地域は、日本全体に点在している。それらの地域は、それぞれ 1～10 程度の人口密度が高い市区町村の塊であり、いずれも政令指定都市である。 ・ 人口密度が低い市区町村は、日本全体に広く分布しており、本州および九州では、内陸部に多い。 ・ 人口密度が高い赤の市区町村と低い紫の市区町村とが直接接することはほとんどなく、赤と紫の間に、その間の黄色や緑、水色の市区町村が分布している。
大阪府内	・ 大阪府内の多くの市区町村は、人口密度が高い。大阪府の中央部とその周辺の市区は、いずれも人口密度が高く、北部と南部に、人口密度があまり高くない市町村が分布している。日本全体に分布する、人口密度が低い紫の市町村は、大阪府内にはみられない。